

令和3年度第3回清水町行政改革推進委員会議事録	
日時	令和4年1月13日(木) 午後2時
場所	清水町役場 4階第1会議室
出席者	【委員】 委員長外5人 【町・事務局】 企画課長以下3人
資料	・次第 ・行政手続における書面主義・押印原則・対面主義の見直しについて

1	開会
2	委員長挨拶
3	資料確認
4	議題 行政手続における書面主義・押印原則・対面主義の見直しについて
■事務局	(資料に基づき、書面主義の見直しについて説明) 町では、書面主義の見直しについて、取組を始めたばかりである。 具体的な取組として、電子申請については、これまで使用してきた電子システムを来年度から入れ替え、より町民の皆様が使いやすくなるよう検討を進めている。 また、Eメールを活用した申請として、大学等新幹線通学支援事業で一部導入しているほか、昨年度に親元を離れて大学等に通っている清水町出身の方に対し、コロナ対策として、町の特産品を贈る「ふるさと学生応援事業」においても学生証等の確認をメールで対応した。
委員	オンライン手続ができる内容について町民は知っているのか。
■事務局	利用者はいるが、まだまだ周知が必要だと感じている。
委員	広報等でオンライン手続ができるものを一覧にしてお知らせするなどの対応をしてはどうか。 オンライン手続に関する KPI を設けることで、KPI を達成するために何

	が障害なのかを明確にし、改善することで利用率は上がっていくと思う。
委員	オンライン手続は、町のホームページが入口になると思うが、現在のホームページでは検索がしづらい。オンライン手続専用ページを作成するなどして、町民が申請しやすくなる入口を作っておくことが必要。
■事務局	オンライン手続に関する入口についても現在検討しており、ホームページのトップ画面や関連ページに紐づけるなどの方法もある。 来年度、新たな申請システムを導入する際に町民の皆様が使いやすくなるよう検討を進めていく。
委員	電子決裁の導入については、簡単なものから導入した方が良い。 残業や休暇の決裁など、人事部門の簡単なものから始めたらどうか。 できるところから始めることが必要。
■事務局	時間外のパソコン使用申請については、電子決裁を用いている。 また、試行の段階ではあるが、簡易的な書類については、電子決裁を導入している。
委員	私の勤務先では、ペーパーレスが進んでおり、休暇は電子決裁、タイムカードは廃止をしている。役場ではどのような状況か。
■事務局	出退勤はシステムで管理している。2年ほど前に新たなシステムに入れ替えており、まだ機能を使いこなせていないことから、若手職員で活用方法について検討している。
委員	システムは独自のものか市販のものか。
■事務局	システムについては、市販のものを購入している。独自で作成した場合はカスタマイズなどで費用がかかるため、市販のものをいかに活用するかで対応している。
委員	スマートフォン1つで様々なものが済むのは良いが、操作が苦手な方が取り残されてしまうため、バランスを保った行政サービスを行ってほしい。
委員	役場のことについてはホームページから情報収集ができるが、地域交流センターや福祉センターに関することをホームページで確認してもあまり情報が掲載されていない。各施設で情報を掲載してもらえると良い。
■事務局	町のイベントが多い地域交流センターについては、今後、イベント内容の情報を公開していく。
委員	近隣市町では施設予約や抽選等がオンラインである。清水町の場合は、各施設に行って予約票等を記入しなければならないため、いずれはオンライン予約ができるようになると良い。ただし、オンライン予約が難しい高齢者等への対応もできるようなバランスをとってほしい。

■事務局	行政はオンラインで対応ができない方がいらっしゃることを踏まえ配慮することを考えていかなければならない。併用していくことになると思う。
委員	コロナワクチン接種の申込みについて、スマートフォンやパソコンでできるようになっているが、高齢者のみの家庭に対する支援を考えていかなければならない。
■事務局	現在、オンライン予約の方法がわからない方のために予約のサポートを行っている。
委員	サポートはどこで行っているのか。
■事務局	毎日ではないが、保健センター及び防災センターで行っている。
委員	役場では、資料等を紙媒体で保管しなければならないのか。 また、データ化が可能なものはあるか。
■事務局	現在は紙で保管しているが、データ化してはならないということはない。
委員	以前、職員のオフィス環境整備について話をしたことがある。 書類をペーパレスにし、電子化することで物が減り、職場環境の改善や働き方改革にも繋がる。
■事務局	書類の電子化は電子決裁と併せて進めていく予定である。 電子決裁の導入により、書類は紙ではなくデータに移行していくが、それらにスムーズに対応するため、保存方法や期間等について運用のルールを作る必要があることから、電子決裁の導入に合わせて検討を進める。
■事務局	(資料に基づき、押印原則の見直しについて説明)
委員	押印を省略することで、職員の業務の効率化が図れることはあるのか。
■事務局	電子決裁の導入により、押印に代わってシステム上で承認するという仕組みになれば時間短縮等にもつながる。 また、住民が印鑑を忘れた場合、これまでは再度印鑑をお持ちいただく手間があったが、押印に代わって署名していただくことでそういった対応がなくなる。
委員	押印を省略することによって起こるリスクがあるか。
■事務局	押印の代わりに署名としているため、これまでと変化はない。
委員	押印の見直しとオンライン手続を組み合わせることで、役場に来庁せずに手続ができるようになるというのが理想である。
委員	内部文書で押印をするものが多く、決裁に時間がかかると聞いたことがある。まずは、できることから少しずつということで電子決裁から進めてもらうと良い。

■事務局	押印をするということは、書類を動かす必要があり時間がかかる。電子決裁になれば、そうした時間や手間を減らすことができるため、電子決裁を活用できる業務を増やしていくよう検討を進める。
委員	電子決裁にすることで、どこで確認が滞っているかが分かる。
委員	コメント機能を活用することで、承認しながらコメントもできる。また、過去の決裁を遡って確認することもできるなどの便利さがある。
委員	町長や副町長も電子決裁やるのか。
■事務局	現在、その検証を行っており、導入する予定。
委員	そういった取組は町民に周知しても良いのではないか。
■事務局	(資料に基づき、対面主義の見直しについて説明)
委員	在宅ワークを実施してみた感想は。
■事務局	在宅ワーク終了後に職員に対し、アンケートを取っている。 集中できたという意見が多かったが、時間を忘れてしまう、家だと職場と違う状況で慣れないなどの意見があった。
委員	うまく切り替えができなかったということか。
■事務局	そのような意見があった。
委員	1人で仕事をしている際、他の職員と情報の共有はできるのか。職場であれば分からないことなどすぐに聞くことができるが。
■事務局	チャットツールを活用してコミュニケーションは取れる状況であるため、質問事項はシステムを通して聞くことができる。
委員	本委員会の会議をオンラインで実施したことがあるが、どうだったか。
委員	インターネット接続で不具合が起きたが、使い慣れれば楽だと思う。移動時間も無くなる。県外の会議は概ねオンライン会議になっている。
委員	住民票等の取得時にキャッシュレス決済は利用できるのか。
■事務局	現在は税金のみである。いずれは住民票等の取得時においても対応できるようにしたい。
委員	マイナンバーカードを持っていれば住民票が取得できるとの話だが、戸籍謄本は取れないのか。
■事務局	コンビニで住民票や戸籍が取れるのは、各自治体のシステムでの対応による。清水町では戸籍を取得するためのシステムを導入していない。
委員	システムが異なる場合であっても、統一してできるようになればよいが。

■事務局	国で、システムを標準化しようとする動きがある。標準的な項目を作ってその仕様によるシステムを構築するものである。標準化の期限が令和7年度末であるため、それまでに変わってくるかもしれない。
委員	町への要望や申請が役場に行かなくてもできるところを目指したい。
委員長	全体を通じていかがか。
委員	文書保存について、国で公文書の破棄について以前問題となった。町ではどのような取扱となっているのか、また、今後どうしていくのか。
■事務局	公文書の保存年数等は、各自治体で決まっており、清水町では、1年・3年・5年・10年・永久と区分けしている。毎年、5月頃に保存年数の期限がきた文書について再度内容を確認し、仕分け整理している。 現在、「永久」区分の文書が増加しており、保管場所等苦慮しているため、電子化するなど検討を進めている。電子化に移行すると、保存においても維持費がかかるため、保存する書類等の選定が必要となる。
委員	会議資料について、メールと郵送の両方で送付がある。紙の資料は当日配布でよいのではないか。業務時間の短縮や郵送料の削減に繋がる。
■事務局	スマートフォンでデータを受領する方もいるため、両方で対応していた。委員の皆様がよろしければメールのみでの送付としたい。 (委員全員の了承を得た)
委員	内部の会議資料はどうしているのか。
■事務局	ペーパレスについて構想は持っているが、まだ検討段階である。
委員	議事録はどうしているのか。AIで十分対応できるため、検討してほしい。
■事務局	議事録作成の省略化に向けた仕組を検討中である。
委員	ホームページについて、スマートフォンからの閲覧が多いと思う。レイアウトを、片手で操作が済むなど使い勝手のいいようにしてほしい。
委員	図書館の電子化を検討してほしい。電子書籍の導入により、自宅で好きな本を読むことができるとともに、非接触でとなるためコロナ対策にも繋がる。
5 その他	
(1) 次回の委員会の日程調整 3月24日(木)午前10時から「補助金等の評価・適正化について(報告)及び次年度取組予定の確認」開催	
6 閉会	